



ちょっと待って！それは詐欺です。



「今年ももう少しで終わりだね。年末の大掃除も頑張らないと」



レオくん



「こんにちは」



「こんにちは 黒猫さん」



「今、お宅の屋根から降りて来たけど、屋根壊れているよ」



麦ちゃん



「え～本当ですか？ そういえば夏のゲリラ豪雨の時、木が直撃したかもしれない」



「このままにしとくと雨漏りがして大変ことになるよ！それにもしかしたら屋根裏の電気配線も水でおかしくなっているかも！」



ルフィー



「え～どうしよう！」



「とりあえず、屋根の修理がどれくらいかかるか、もう一度見てあげるよ。それに修理出来そうならやっつくよ。そのあと家の中の火災報知器が正常に動くか確認させて、いざという時に作動しなかったら意味ないからね」



松平さん



「ありがとうございます。宜しくお願いします」

黒猫が屋根に上がっている時に、麦ちゃんが帰ってきました



「どうしたレオ！ ソワソワして、シッポも下げて！」



「麦ちゃん大変だよ！ 屋根に穴開いているって！電気配線もおかしくてこのままだとみんな故障しちゃうって！」



「それは誰に聞いたの？」



「黒猫さん。今屋根を調べてもらっているよ。」



「黒猫！ちょっと見てくるよ」

～ そして屋根から、帰ってきた麦 ～



「どうだった！黒猫さんいたでしょ」



「もう逃げたよ。あいつは詐欺師のルフィーだよ。」



「え！逃げた？詐欺師？どういうこと？」



「あいつは、壊れてない屋根を壊れたと言って、修理したふりをして高額な修理代を請求するんだ。」



「そんな！じゃ家の火災報知器の点検もウソって事？」



「大嘘だよ。そうやって家の中の様子を確認して、空き巣や強盗の準備をするんだよ。」



「そんな！ウソツキ猫だなんて！麦ちゃんが来てくれなかったら、どうなっていたか。本当ありがとう！」



「本当よかったよ。最近の詐欺は本当に手が込んでいるからね」



「これ以外にも、詐欺ってどんなものがあるの？」



「そうだね！詐欺についてももう少し詳しく知りたいよね。ここで千葉県警の松平さんに詐欺について聞いてみよう。」



「こんにちは、松平さん！詐欺についていろいろ教えて下さい。」



「こんにちは。レオくん 麦ちゃん」

「レオくんが詐欺に騙されそうになったんだってね。今、レオくんが騙されそうになった詐欺は、点検商法という詐欺の一種だよ。」

でも、これ以外にもみんなのお金を狙う詐欺はいっぱいあるんだけど、今、全国的に一番流行している詐欺は、特殊詐欺という詐欺なんだ。」



「特殊詐欺？」



「レオくん、麦ちゃん。オレオレ詐欺という言葉は聞いたこと無いかな？」



「聞いたことがあります。自宅の電話に息子や孫などのかたって、電話をかけてくる詐欺ですよ？」



「そうそう、よく知っているね。この、オレオレ詐欺やみんなの預貯金を狙う詐欺、払う必要のない料金を架空に請求する詐欺などを総称して、特殊詐欺と言うんだよ。千葉県警では、この特殊詐欺のほとんどが電話で始まる詐欺だから、『電話de詐欺』と言っているんだ。」



『電話de詐欺』覚えておきます。」



「では、昨年、千葉県でこの電話de詐欺の被害額はどのくらいだったと思うかな？」



「1億円くらい？」  「10億円くらい？」



「正解は、約41億9千万円。944件の電話de詐欺被害が発生しているんだ。」



「そんなに多いんですか！」



「二人が住む佐倉市でも、昨年は41件の被害が発生し、被害額は1億1千万円あるんだよ。でも、今年は、千葉県も佐倉市も去年を上回るペースで詐欺が発生しているんだ。その額は今年の11月までで被害件数は56件、被害額は約2億3千3百万円にもなっているんだよ。」



「なんでこんなに騙されちゃうんですか？」



「それは、詐欺の手口が巧妙化、複雑化していて、詐欺だと気づかないままお金を渡してしまうからなんだ。では、これから詐欺の手口をいくつか紹介するね。



まず一つ目は、さっきも二人に聞いた『オレオレ詐欺』という詐欺だよ。この詐欺は、息子や孫などを騙って電話を架けてきて、『カバンを無くした。大事な書類もカバンに入っていた。直ぐにお金が必要だから、会社の上司がお金を取りに行く。』などと言って、自宅に現金を取りに来る詐欺なんだ。

また最近では、ニセ警察官やニセ裁判官がビデオ通話に出てきて不安をあおり、『あなたの銀行口座が犯罪に利用されている。預金を調べる必要がある。一旦、指定された口座に預金を全額振り込みするように』などと言って、口座に入っている預金を全てだまし取られてしまう詐欺が流行っていて、この詐欺は、高齢の方だけでなく若い世代(20歳代~50歳代)の人も騙されている詐欺なんだ。



二つ目は、警察官や銀行協会、カード会社などを騙って電話を架けてきて、皆さんのキャッシュカードをだまし取る詐欺なんだ。この詐欺では、犯人が電話を架けてきた際に、キャッシュカードの暗証番号も聞き出すので、他人には絶対に暗証番号を教えるはいけないよ。その他にも、保険料の還付金があるなどと電話があり、携帯電話で通話しながらATMを操作させて現金を振り込ませる詐欺や、SNSで投資を勧めてお金をだまし取る詐欺、パソコンのウイルスを解除するためにコンビニでプリペイドカードを購入させる詐欺などまだまだいろいろあるんだ。二人が住む佐倉市でも、昨年は41件の被害が発生し、被害額は1億1千万円あるんだよ。」



「そんなにあるの~!! 覚えられないよ~!!」



「そうだよね。だから、これから詐欺に騙されないようにする対策について教えるね。



まず『犯人と話をしてはいけないこと』が大事なんだ。犯人は騙しのプロで、皆さんが電話de詐欺のことを知っていても、犯人と話してしまうと焦ったり口車に乗ってしまったら騙されてしまうんだ。

だから、千葉県警では『電話de詐欺は電話de対策』と言って、犯人と話をしてはいけないよう、家の固定電話は常に留守番電話設定にしておくよう推奨しているんだ。



また、最近の詐欺電話は海外から掛かってくることが多いんだ。だから、『国際電話着信ブロック』も推奨しているんだよ。」



「国際電話着信ブロック？」



「レオくん、麦ちゃんの家や携帯電話は、掛かってきた番号が表示されるかな？
そして、国際電話から掛かってきた電話は、どのように表示されるか知っているかな？」



「知ってる。確か番号の最初に「+」と表示されるんじゃないかな？」



「そのとおり、よく知っているね。海外からの電話は、ほとんど「+」から始まる電話番号が表示されるので、このような電話が掛かってきたときには、注意が必要なんだ。ただ、番号を確認しなかったり、番号表示がされない電話を使っていると、電話に出してしまう可能性が高いので、家の固定電話に海外から電話が掛かってこないよう、海外からの電話を強制的にブロックしてしまう制度が始まっていて、電話やインターネットで無料で申し込むことができるんだ。

電話で申し込む場合の電話番号は、

0120-210-364 国際電話不取扱い受付センター

だから、二人もこの後で申し込みしたら良いと思うよ。」



「わかりました。この後、やってみます。」



「その他にも、警告・通話録音機能付きの電話にしたり、番号通知(ナンバーディスプレイ)サービスに申し込むことも詐欺に騙されない対策として有効だよ。」



「いろいろと対策があるんだ。少し安心したよ。自分たちだけでなく、他のお友達にも教えてあげよう。」



「いろいろ話してきたけど、これからも詐欺の犯人は、手を変え品を変え、いろいろな方法でみんなを騙そうとしてくると思うんだ。だから、電話でお金やキャッシュカードの話が出たら詐欺！と覚えてもらって、このような電話が掛かってきたら、すぐに電話を切って、その後で家族や警察に相談してね。警察では、

電話de詐欺相談専用ダイヤル 0120-494-506

も開設しているから、不安に思ったら気軽に相談してね。」



「いろいろと教えてくれてありがとうございました。詐欺の被害が一件でも少なくなるよう、家族や友人とも話してみたいと思います。」